

高千穂大学 教職課程だより

ご挨拶

教職課程運営委員会委員長 松丸啓子

高千穂大学教職課程で学ばれた卒業生教員の皆様、今年度をもってご卒業される皆様、在校生の皆様、そして、様々な活動を通じて本学教職課程にご支援を賜っている皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。私は昨年度より教職課程運営委員長を務めさせていただいておりますが、皆様の日頃からの本学教職課程運営へのご理解とご協力に対しまして、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

この度、『高千穂大学 教職課程だより』第3号をお届けすることができました。この『高千穂大学 教職課程だより』の発行は一昨年度より開始されておりますが、その主たる目的は、本学の教職課程で学んだ卒業生の皆様と在校生たち、教職員その他の関係者たち相互の交流の輪を広げ、絆を深めることで、本学教職課程における教員養成のさらなる充実と活性化を企図することにございます。そのような意味からも、本年度におきましても引き続いて『高千穂大学 教職課程だより』を発行することができましたことを、本学の教職課程運営に携わる者の一人として、大変喜ばしく感じております。

また今年度は、新たな試みとして、例年2月に開催されている「教員採用試験合格報告会」と同日に、「高千穂大学卒業生教員と教職履修学生との情報交換会（高千穂大学卒業生教員の会）」を開催することができました。当日は、第Ⅰ部の「教員採用試験合格報告会」において今年度の教員採用試験合格者による報告を卒業生教員の皆様にも一緒にお聴きいただき、その後、第Ⅱ部の「高千穂大学卒業生教員と教職履修学生との情報交換会（高千穂大学卒業生教員の会）」において在校生たちと個別に交流もいただき、おかげさまで非常に有意義な時間を共有することができました。お忙しいところご来校いただいた卒業生教員の皆様、誠にありがとうございました。初めての試みという事情もございまして、改善すべき点も多々あったかとは存じますが、そうした点を改善しながら、さらにより良い会合を実施できるよう努めてまいります。今後とも卒業生教員の皆様のお力添えを賜れば幸いです。

先の中教審答申においては、改革の柱の一つとして「教員の資質向上」が強調されておりますが、今後は“学び続ける教員”を支えるキャリアシステムの構築が模索されることになる見通しです。こうした流れの中で、本学教職課程においても教員免許状更新講習の開設についての検討が進みつつあります。可能な限り、卒業生教員の皆様にとりましても受講しやすい環境を整え、充実した講習内容を実現するよう努めてまいりたいと考えておりますので、ご要望等がございましたら、ぜひお聞かせいただければと存じます。

4月からは待望の「教職相談室」も開設の運びとなり、本学の教職課程関係の環境は年々整備されてきております。そうした環境をフルに活かしていくためにも、ぜひ卒業生教員の皆様との連携をさらに密にしてまいりたいと考えておりますので、今後とも卒業生の皆様の多大なご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

(人間科学部教授)

教員実習報告会(7月2日)

平成28年度7月2日(土)「教育実習報告会」を開催し、教育実習を終えた全25名の学生のうち、3名、商学部4年Aさん、人間科学部児童教育4年Sさん、人間科学部児童教育4年Tさんから、報告を受けました。Aさんからは主に商業科に関する授業などについて、Sさんからは児童の発言予想の難しさと必要性など、Tさんからは研究授業での取り組みなどについて報告を受けました。

最後になりますが、実習生を受け入れていただき増した学校及び先生方に深く感謝申し上げます。

※本報告会の様子は「Quarterly 高千穂」59号にも掲載されています。そちらもご覧ください。

<http://www.takachiho.jp/library/outline/quarterly/59.pdf>

教員採用試験合格報告会 (2月4日)

2月4日(土)に、セントラルスクエアのタカチホホールにて、「教員採用試験合格報告会」が開催されました。参加者は、学生が89名、教職員が21名でした。

合格報告は、大学推薦による教員採用試験に合格した、人間科学部児童教育専攻の4年生2名にいただきました。一人は横浜市に合格したAさん、もう一人は東京都に合格したSさんです。Aさんからは、小学校でのボランティア経験が採用試験にとっても役立った、Sさんからは、採用試験の選考方法には、大学推薦以外に一般選考や特別選考などがある、試験の内容は自治体によって異なっている、といった報告がなされました。また、お二人から、後輩に向けて、試験勉強は仲間とともに(情報交換ができる、不安な気持ちを共有して乗り越えられる)、早めに準備を、教職課程やゼミの先生の助力を活かす、といったアドバイスがありました。

上記の合格報告に続いて、お二人の卒業生教員から教育実践報告をしていただきました。茨城県の高高等学校にご勤務のN先生と、調布市の小学校にご勤務のS先生です。お二人からは、学校行事や部活動を通しての高校生との交流、小学校での保護者対応や児童との関わり方などのお話をうかがいました。(講演詳細は、p.3・p.4をご覧ください。)

なお、この会の結びとして、杉並区教育委員会教育長代理/済美教育センター統括指導主事の大島晃様が、これらの合格報告と教育実践報告の講評をしてくださいました。また、その折、合格者の報告にこのように多数の同輩・先輩がかけつける大学はとても珍しいのではないかと、温かい大学であるとの印象を受けた、とのお言葉を残してくださいました。

お忙しい中お越しくございました大島先生に、心から感謝申し上げたいと存じます。(松丸修三)

卒業生教員の会 (2月4日)

上記、「教員採用試験合格報告会」に続き、「卒業生教員の会」を開催いたしました。

従来、「教員採用試験合格報告会」終了後に開催されておりました「情報交換会」に卒業生教員の方々もお招きし、現役学生と現職の先生方の交流を図ることいたしました。

理事長藤井耐の挨拶の後、学長笹金光徳による乾杯の挨拶に続き、ご参加いただいた卒業生教員の方々にも全員よりご挨拶をいただきました。初めての試みにもかかわらず多数の先生にご参加いただきました。深く感謝申し上げます。また、ご参加いただきました理事長・学長・学内の先生方にも感謝申し上げます。

高千穂大学での教職課程担当にあたって

人間科学部 上野泰治

平成28年4月1日付で本学人間科学部に着任いたしました、上野泰治です。教職課程運営委員会に所属しており、教育心理学、教育相談の基礎、生徒指導論を担当しております。

小さい頃から教えることが好きでした。中学校を卒業した頃には英語教育に興味があり、英語の先生になろうと夢見ていた時期もありました。その後、言語そのものの興味が高まり、大学入学後は言語学を専攻しました。修士課程進学後は心理学や脳科学を学び、現在に至ります。私が心理学を専攻していた頃、世の中では「カウンセリング・マインド」という言葉がブームになりました。これの意味するところは諸説ありますが、「教科の専門的知識より、心理学などの子どもの心の悩みに応じるための知識をつけるべきだ」という考えが背景にあったように思います。ちょうどこの頃、平成10年に教育職員免許法が一部改正となり、中学・高校の免許状については、教科に関する科目(例：英文学講義・国文学講義)の必要単位数が少なくなり、逆に教育に関する科目(例：教育心理学)の必要単位数が多くなる、という法改正がありました。つまり、教育心理学や教育相談の基礎、生徒指導論などの、心に関する科目の重要性が強く認識されていた時代です。私が教職課程を履修していたのもこの頃にあたり、社会が必要としていた心に関する科目をしっかりと学ぶことが出来ました。その後、認知症の脳機能理解や言語リハビリなどの心理臨床的活動に携わって参りましたが、この度、本学にて心に関する科目の教育職を担当できることを、大変嬉しく思っております。

既に1年間の授業が終わり、少しずつ慣れてきたところです。本学の学生に驚いたことの一つは、ボランティアなどの教育実践に対する意欲・関心の高さです。ゼミ生の何人かが、1年生の頃から近隣の小学校に足を運び、朝礼前や放課後の学習補助に携わっていました。また、夏休みには母校の小学校を訪ねてのボランティアを薦めてみたところ、実に半数近くのゼミ生が何らかの形で学校ボランティアに携わっていました。今年度に公立学校教員採用試験に合格した4年生に話を聞いたところ、こういった学校ボランティア活動が、自然と教員採用試験の面接・場面指導の対策になったと話してくれました。今後もこういった教育実践の機会を提供し、先生になるという夢をもって入学してくる学生の志に応えられるよう、微力ですが一所懸命に頑張っております。どうぞよろしくお願いたします。

○ 本年度教員採用者について

平成28年度 新規教員採用者は5名(3月16日現在 非常勤講師等採用者含まず)です。卒業生教員の皆様におかれましては、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

＜本学教職課程の概要について＞

(1) 取得可能な免許種

高千穂大学教職課程では、現在、以下の免許を取得することができます。

学部	専攻	取得可能な免許種
商学部		高等学校（商業）／高等学校（公民）／高等学校（地理歴史）／中学校（社会）
経営学部		高等学校（商業）／高等学校（情報）
人間科学部	人間科学	
	児童教育	小学校（全科）

※ 免許状はすべて一種教育職員免許状。

※ 商学部では、高等学校（情報）／経営学部では、高等学校（公民）（地理歴史）・中学校（社会）免許状取得も可能。

(2) 年間行事

教職課程では、教職課程運営委員会の下、主に以下の行事を実施しています。

月	行事	内容
4月	履修オリエンテーション	春学期履修に向け、学年ごとに実施します。
7月	教育実習報告会	教育実習を終えた学生から、教育実習の体験をお伺いします。
8月	教員採用試験対策講座	教員採用を目指す3・4年生の希望者を対象に、採用対策試験講座を行っています。
9月	履修オリエンテーション	秋学期履修に向け、学年ごとに実施します。
11月	新規履修者オリエンテーション	新規履修希望者向けにオリエンテーションを実施しています。
2月	教職課程新規履修者面接	教職課程新規履修者希望者を対象に、面接を行い、履修の可否を決定します。
	教員採用試験合格報告会	教員採用試験合格者及びお招きしたOB・OG教員より、合格までの道のりや教員生活の心構えなどをお話頂きます。

※教職課程履修者は「オリエンテーション」「教育実習報告会」「教員採用試験合格報告会」参加が義務付けられます。

卒業生及び卒業された皆様へ

- 勤務先の変更・ご自宅の住所変更時
 - 「学力に関する証明書」「単位取得証明書」等、証明書が必要な時
 - 教職課程及び就職課に対する、私立学校からの求人を知りたい時
- 以上の際には、学務部 教務課（TEL:03-3313-0146）までお問い合わせください。

＜目次＞

- ご挨拶・・・・・・・・・・p.1
- 行事紹介・・・・・・・・・・p.2
- 講演・・・・・・・・・・p.3～4
- 新任教員ご挨拶・・・・・・・・p.5
- 本年度教員採用者について・・p.5
- 事務連絡・奥付・・・・・・・・p.6

「高千穂大学教職課程だより」 第2号 平成29年3月20日発行
 ＜平成27年度 教職課程運営委員会＞

委員長 松丸啓子
 常任委員 鈴木隆弘 委員 上野泰治 委員 楠美将彦
 委員 小林康一 委員 松丸修三 教務課 北田 大介

（本年度編集担当：鈴木・松丸啓子）